

# 平成23・24年度みやぎ食の安全安心消費者モニター 新規登録者アンケート結果報告

## ■アンケート実施内容

- ・対象者は、平成23年度及び平成24年度に新たにみやぎ食の安全安心消費者モニターに登録した30人（平成23年度10人、平成24年度20人）である。平成23年度は新規登録者が少なかったため、平成24年度分と併せて集計を行った。
- ・回答者数は、26人（平成23年度9人、平成24年度17人）である。
- ・回収率は、平成23年度が90.0%、平成24年度が85.0%である。
- ・調査は、平成23年4月から平成25年3月までに郵送により実施した。

## ■アンケート対象者属性

- ・60代が9人（34.6%）と最も多い。また、男性が11人（42.3%）、女性が15人（57.7%）である。
- ・年代別内訳（単位：人）

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
0	4	5	5	9	2	1	26

- ・男女別内訳（単位：人）

男性	女性	計
11	15	26

## ■アンケート結果の表示について

- ・前回平成22年度のデータと比較した。  
また、必要に応じて平成19年～22年度のデータを示した。
- ・年齢階層別に集計した結果、50歳未満と50歳以上の回答者で傾向が異なる設問については、2階層の集計結果も示した。

### <結果要約>

#### 1. 食品購入時の行動について

消費者は、食品を購入する際に「安全性」を最も重視しており、その割合は平成22年度よりも高くなったが、過去6年間で最も高かった平成20年に比べるとやや低下した。また、「新鮮さ」を重視する割合は高い傾向にある。

#### 2. 表示の確認度と食品表示に不満を感じること

すべての回答者が、食品購入の際に「消費期限、賞味期限の日付」と「原産国・原産地や製造者の情報」を確認しており、約9割の回答者は「原材料」を確認している。

食品の表示については、「加工品に使われている野菜、肉などの原産地表示がない」、「文字が小さすぎて見にくい」、「商品によって表示の方法や位置、使っている言葉がまちまちである」といった不満を感じている。

#### 3. 食品の安全性について

食品の安全性に対して、「大いに不安を感じている」と回答した人の割合は平成22年度よりも高くなったが、最も高かった平成20年に比べると減少している。

特に不安を感じる項目は、多い順に「輸入食品の安全性」、「食品添加物」、「農作物への無登録農薬の使用や農薬の残留」、「食品表示の偽装」である。

# 1. 食品購入時の行動

## (1) 食品を買うときに重要だと思うこと

問 あなたが食品を購入する際に、特に重要だと思っていることは何ですか？  
最も重要だと思うことに◎、次に重要だと思うものに○をつけてください（◎、○は各1つずつ）。

食品を買うときに最も重要な項目は、「安全性」であるとの回答が61.5%を占め一番多く、率では平成22年度よりも増加したが、過去6年間で最も高かった平成20年に比べるとやや低下している。次いで「新鮮さ」（23.1%）が多く、率は平成20年以降増加している。また、「産地・メーカー」とした回答はなかった。

次に重要な項目として多いのは、「味や品質」（26.9%）であり、次いで「新鮮さ」、「価格」、「時期（旬のもの）」、「安全性」等である。（図1）

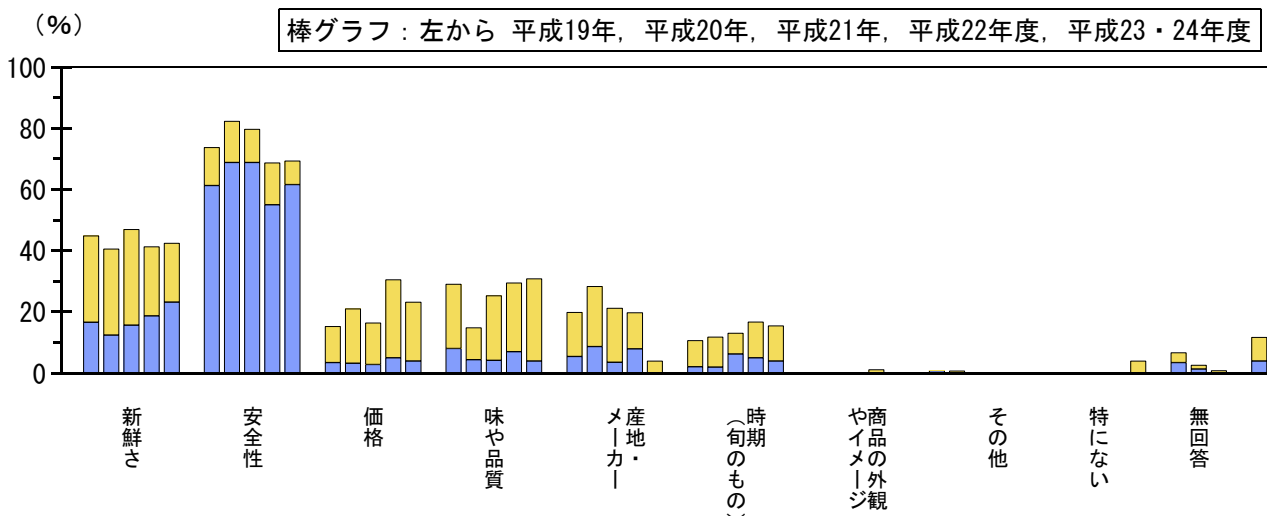


図1 食品を購入する際に重要とする項目

年齢別では、有意な差は認められなかった。

## (2) 買い物についての考え方や行動

問 買い物について、あなたの考え方や行動に特によくあてはまるものをお選びください（○は3つまで）。

買い物をする際に「価格が品質や新鮮さなどに見合っているかをよく検討する」、「安全性に配慮した食品かどうかを重視する」との割合がともに76.9%、「多少値段が高くても外国産よりも国内産の食品を買う」が57.7%と高い。（図2）

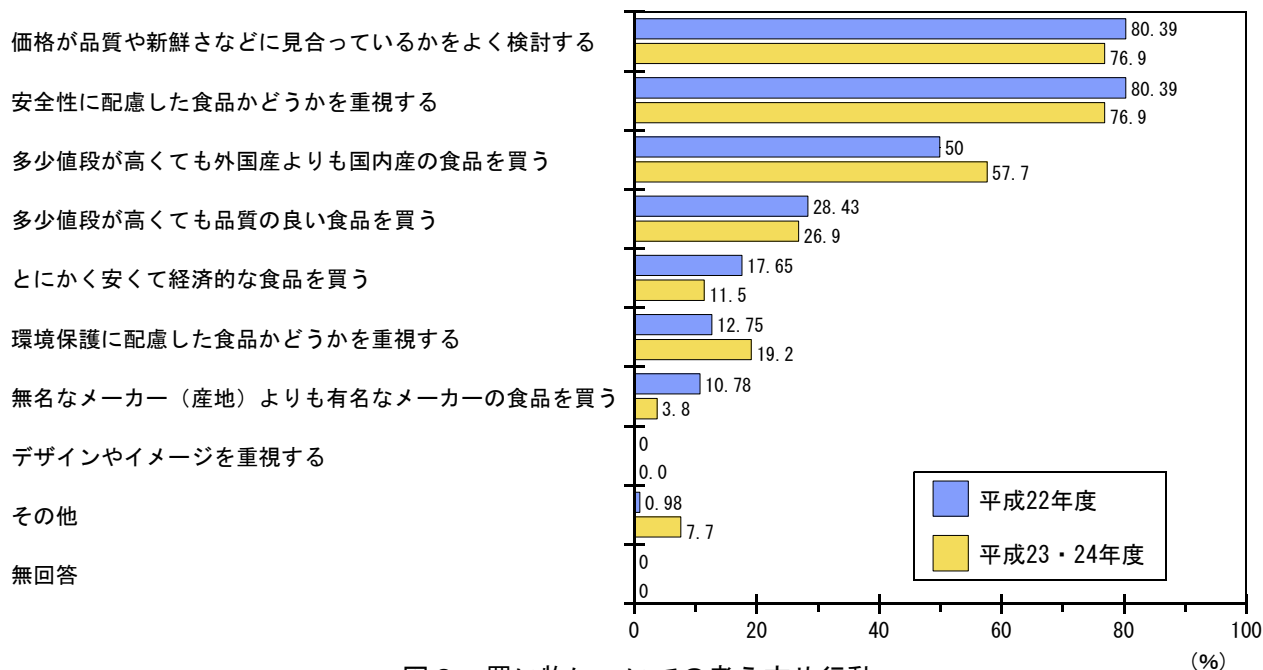


図2 買い物についての考え方や行動

年齢別では、50歳未満と比較して50歳以上で「環境保護に配慮した食品かどうかを重視する」の回答率が高い。（図3）

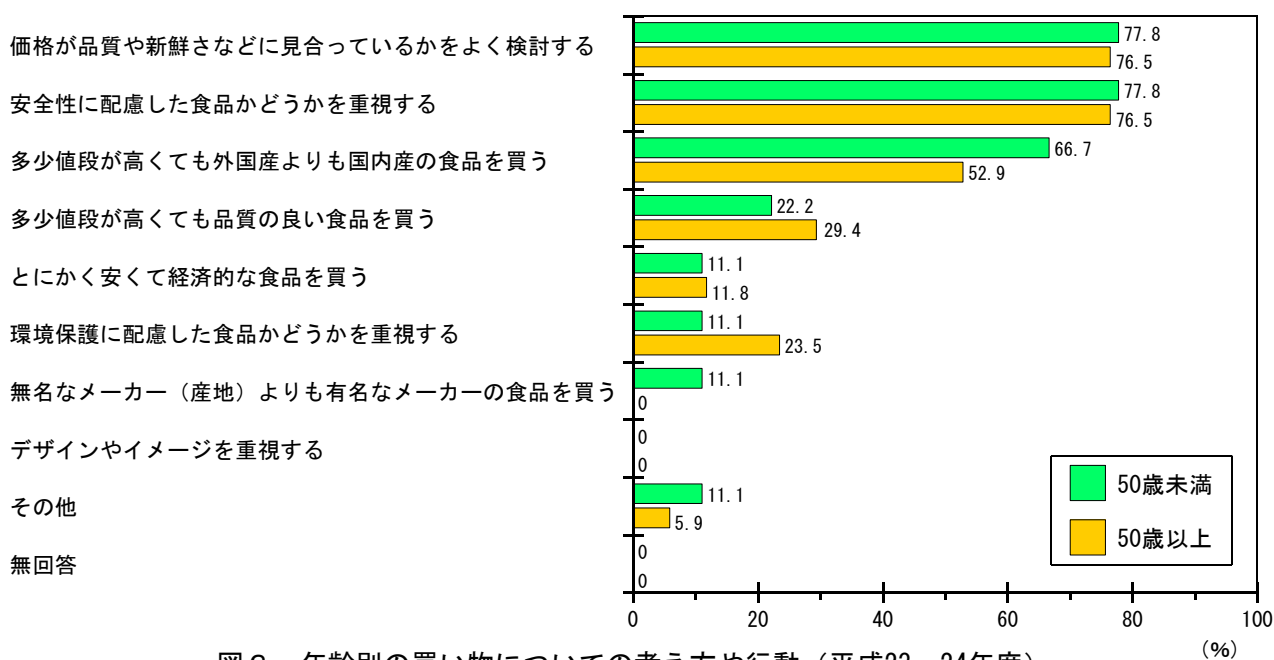


図3 年齢別の買い物についての考え方や行動（平成23・24年度）

## 2. 表示の確認度と重視する点

### (1) 食品表示の確認頻度

問 食品の購入時に、以下の表示についてどのような確認をしていますか？

イ 消費期限、賞味期限の日付

消費期限、賞味期限の日付については、88.5%が「たいてい確認している」と回答しており、平成22年度と比して6.1ポイント増加している。「どちらかという確認している」をあわせると、全ての回答者が消費期限、賞味期限を確認している。(図4)

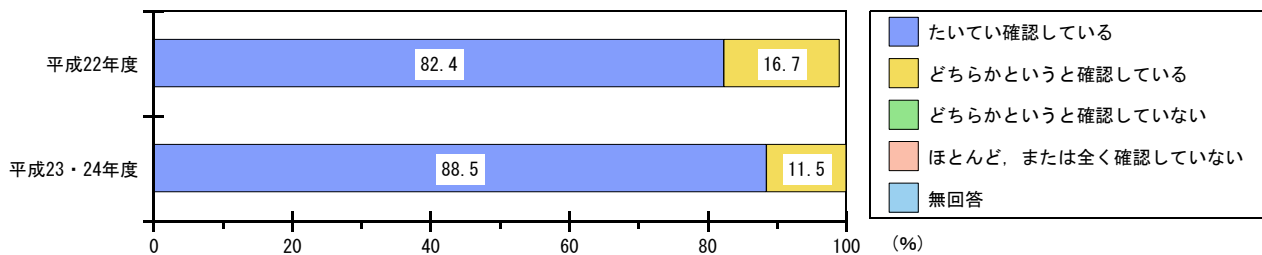


図4 消費期限、賞味期限の日付

年齢別では、有意な差は認められなかった。

ロ 原産国・原産地や製造者の情報

原産国・原産地や製造者の情報については、76.9%が「たいてい確認している」と回答し、平成22年度と比較して8.3ポイント増加している。「どちらかという確認している」をあわせると、全ての回答者が原産国・原産地や製造者の情報を確認している。(図5)

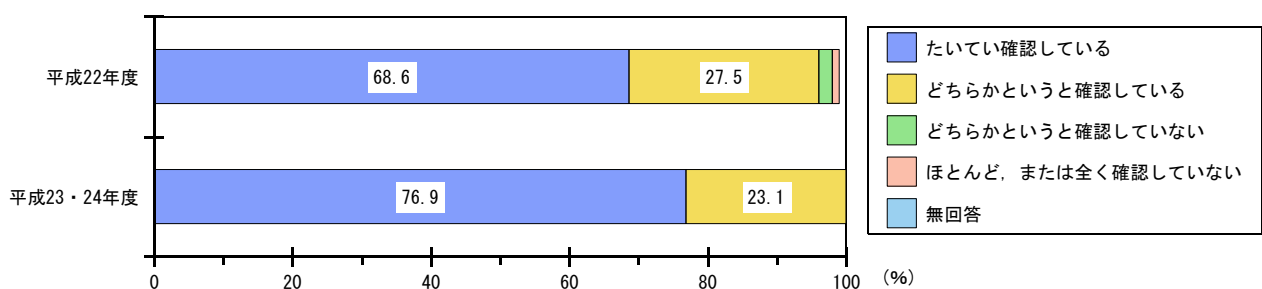


図5 原産国・原産地や製造者の情報

年齢別では、有意な差は認められなかった。

ハ 原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質、遺伝子組み換え食品等の有無など）

原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質、遺伝子組み換え食品等の有無など）については、61.5%が「たいてい確認している」と回答している。「どちらかという確認している」を合わせると、88.4%が確認しており、平成22年度と比較すると増加している。（図6）

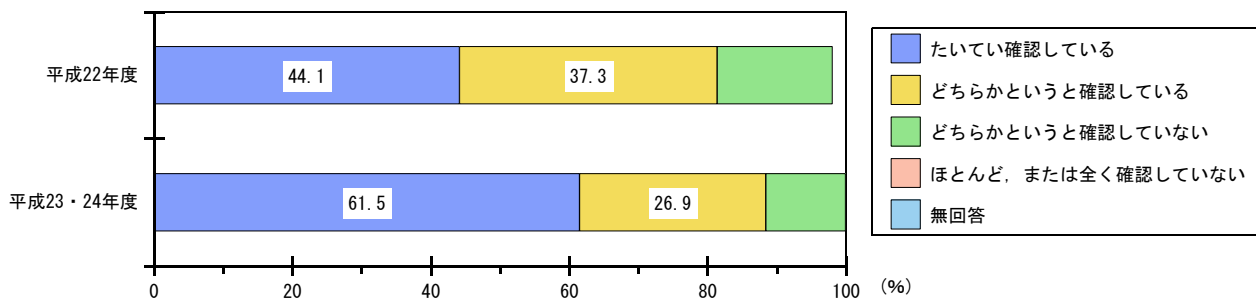


図6 原材料

年齢別では、有意な差は認められなかった。

## (2) 食品表示への不満

問 日ごろ、食品表示について不満を感じることはありますか？（〇は5つまで）

食品の表示についての不満は、「加工品に使われている野菜、肉などの原産地表示がない」が最も多く、次いで「文字が小さすぎて見にくい」、「商品によって表示の方法や位置、使っている言葉がまちまちである」となっている。（図7）

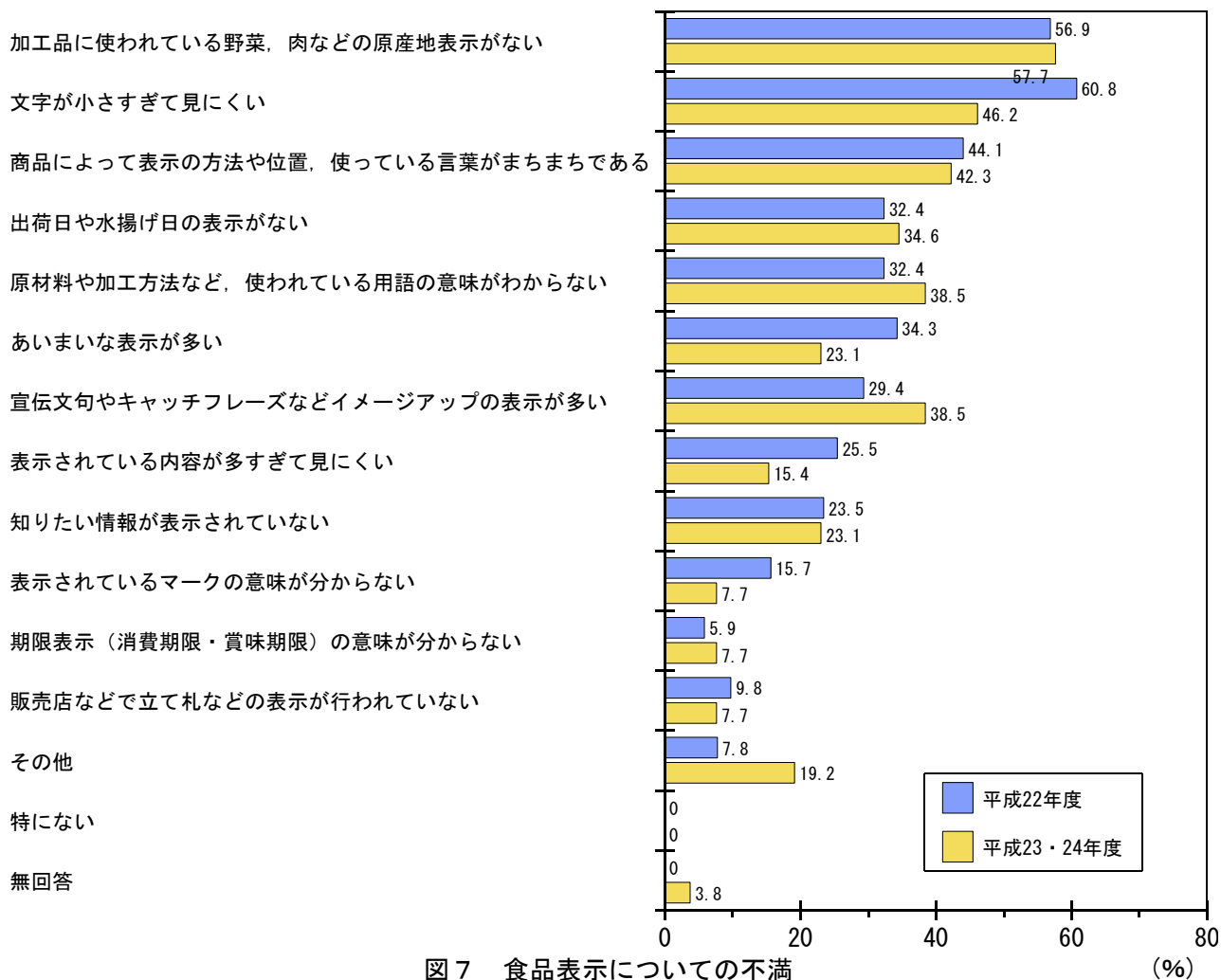


図7 食品表示についての不満

(%)

平成22年度と比較すると、特に「宣伝文句やキャッチフレーズなどイメージアップの表示が多い」、「原材料や加工方法など、使われている用語の意味がわからない」などの不満が増加している。

年齢別では、50歳未満と比較して50歳以上では「あいまいな表示が多い」、「加工品に使われている野菜、肉などの原産地表示がない」、「文字が小さすぎて見にくい」、「商品によって表示の方法や位置、使っている言葉がまちまちである」といった不満を感じる人の割合が高い。(図8)

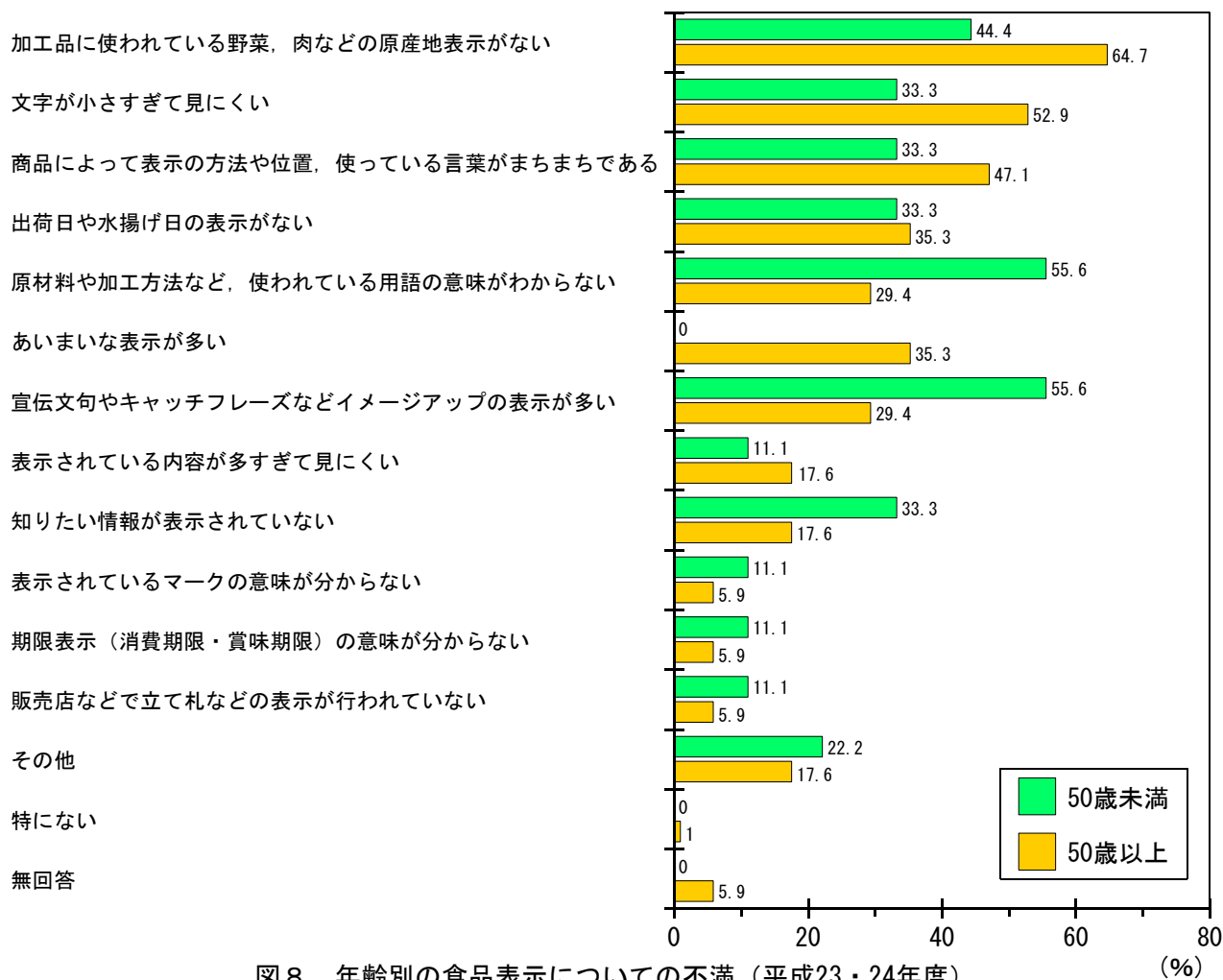


図8 年齢別の食品表示についての不満（平成23・24年度）

### 3. 食品の安全性について

#### (1) 食品の安全性に対する不安感

問 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか？（○は1つだけ）

食品の安全性に対して、「大いに不安を感じている」と回答した人の割合は平成22年度に比べて8.3ポイント増加しているが、最も多かった平成20年と比較すると減少している。（図9）

表示文字列

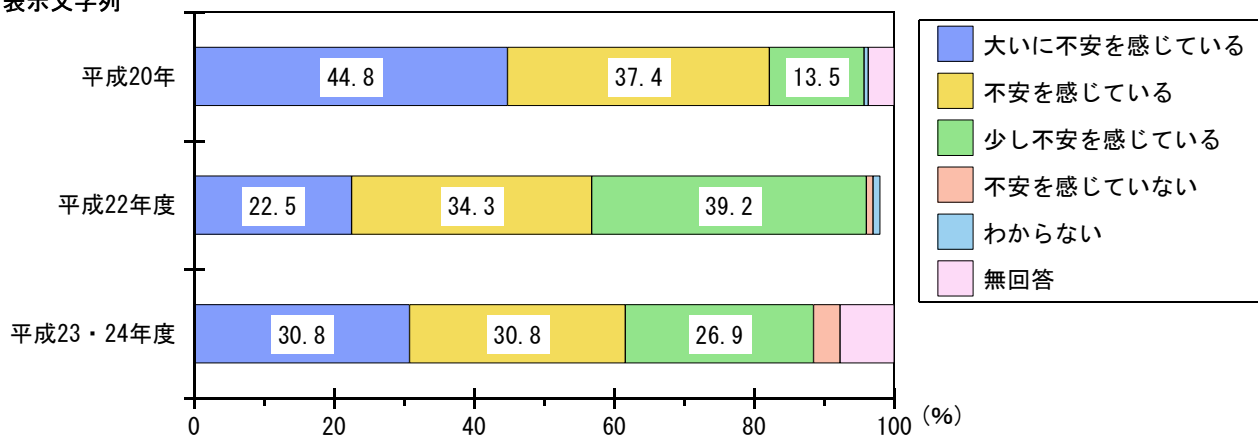


図9 食品の安全性に対する不安

年齢別では、有意な差は認められなかった。



## (2)特に不安を感じる項目

問 特に不安を感じていることは何ですか？（○は5つまで）

※ 前問で不安を感じていると答えた方のみ記入

項目別で比較すると、「輸入食品の安全性」、「農作物への無登録農薬の使用や農薬の残留」、「食品添加物」について、半数以上が不安を感じており、特に「抗生物質の使用」、「BSEなどの家畜の疾病」は10ポイント以上増加している。（図10）

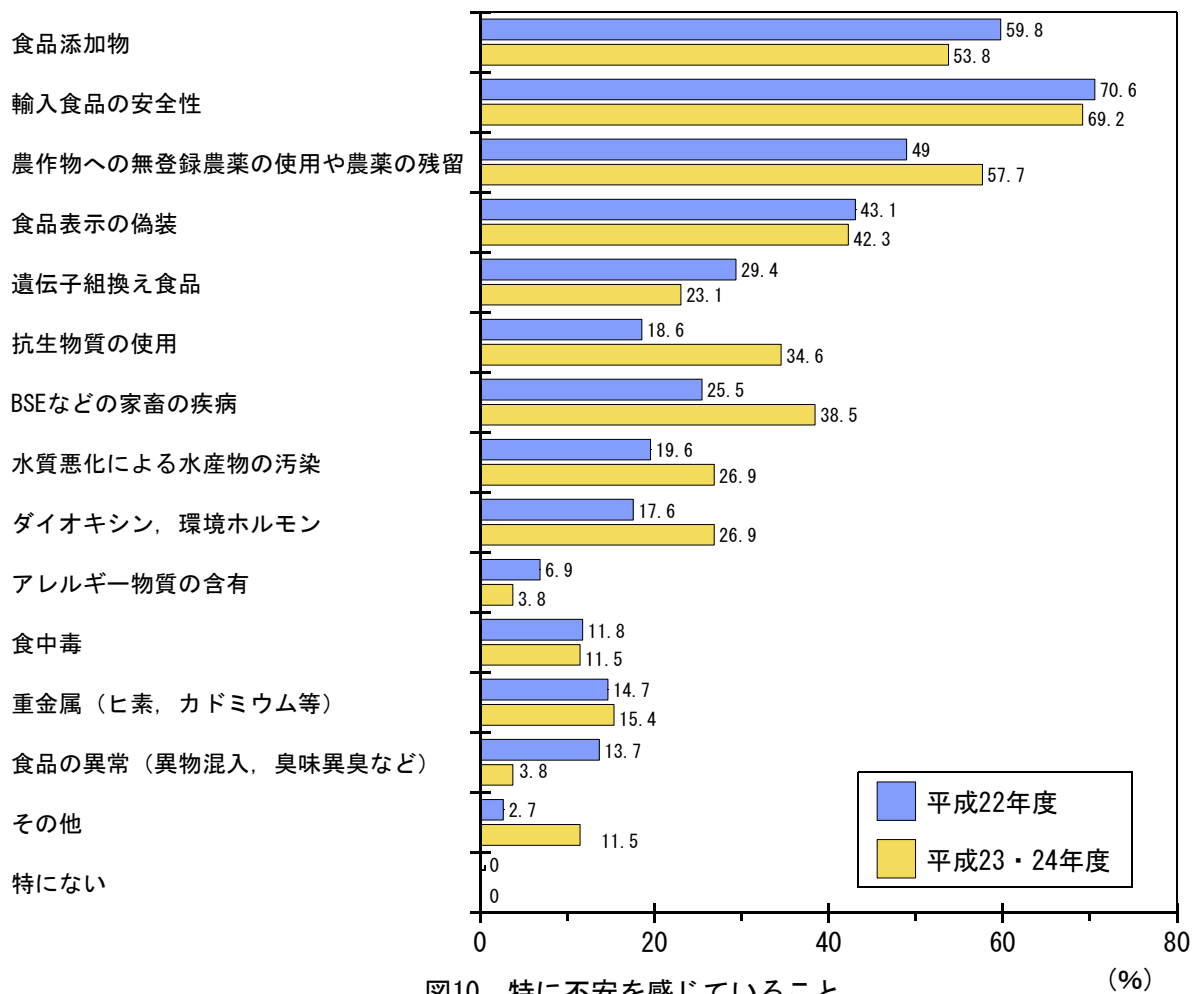


図10 特に不安を感じていること

年齢別では、有意な差は認められなかった。

## 参考グラフ

### 1. 食品購入時の行動

#### (2) 買い物についての考え方や行動

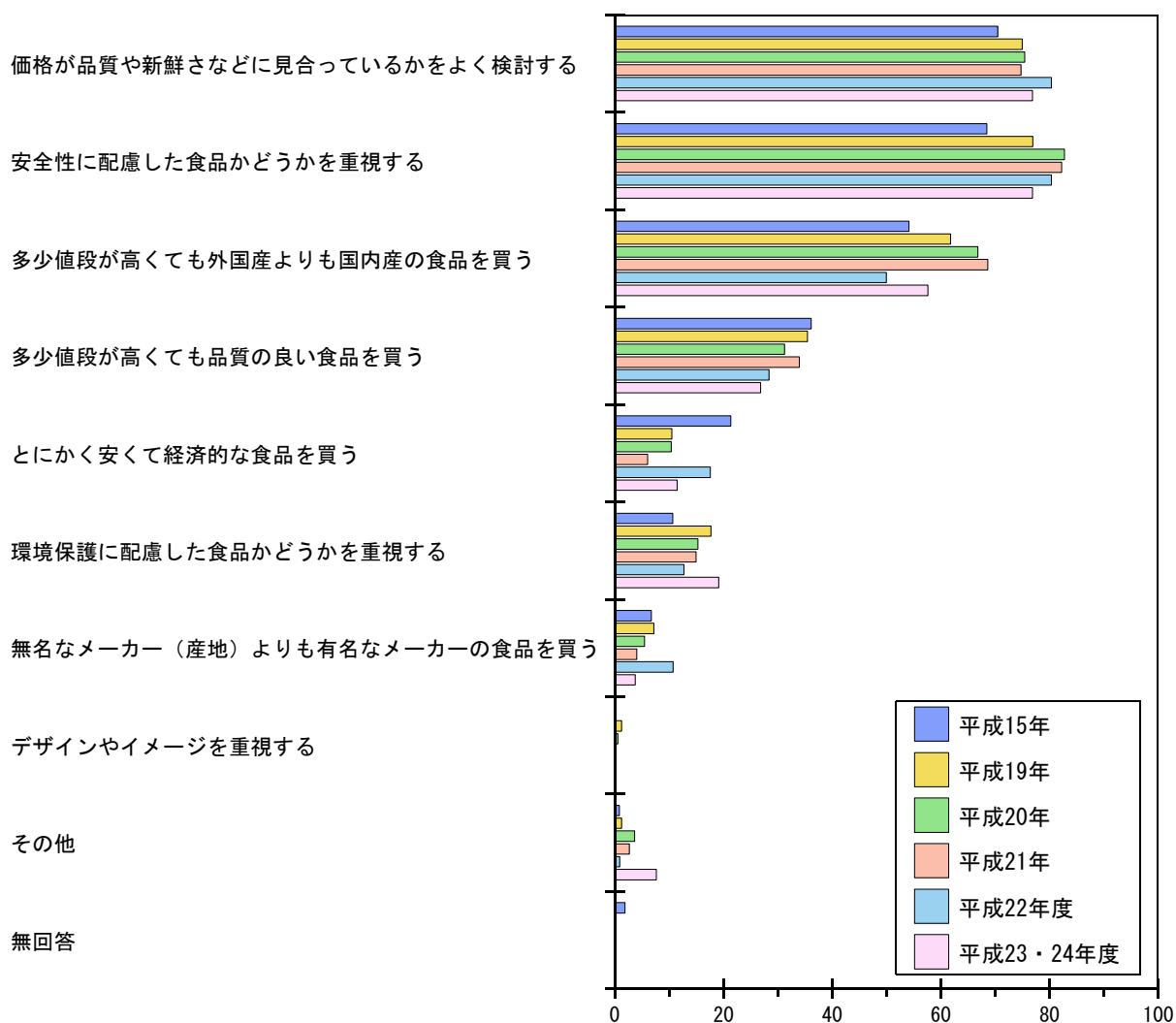
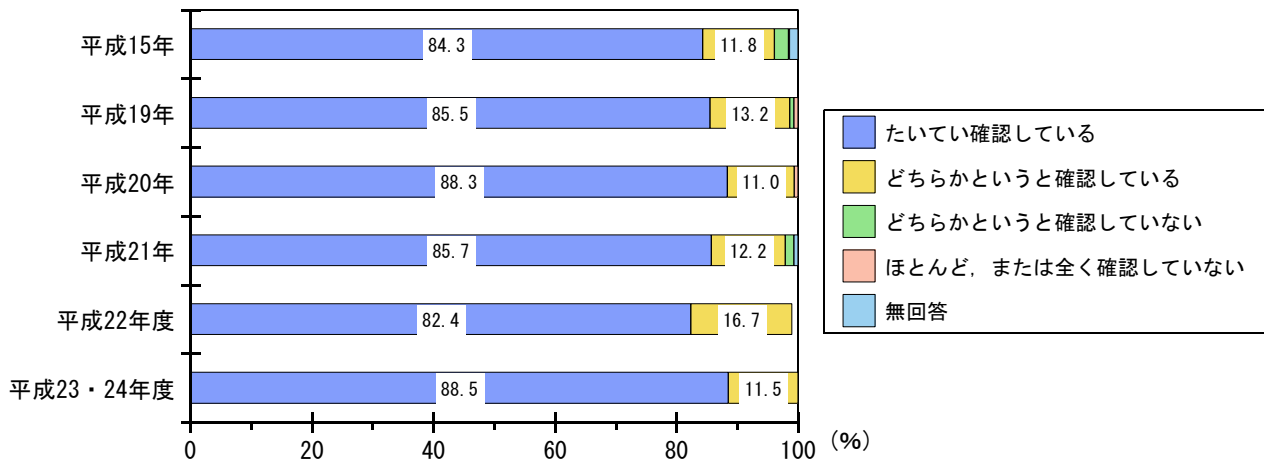


図 I 買い物についての考え方や行動

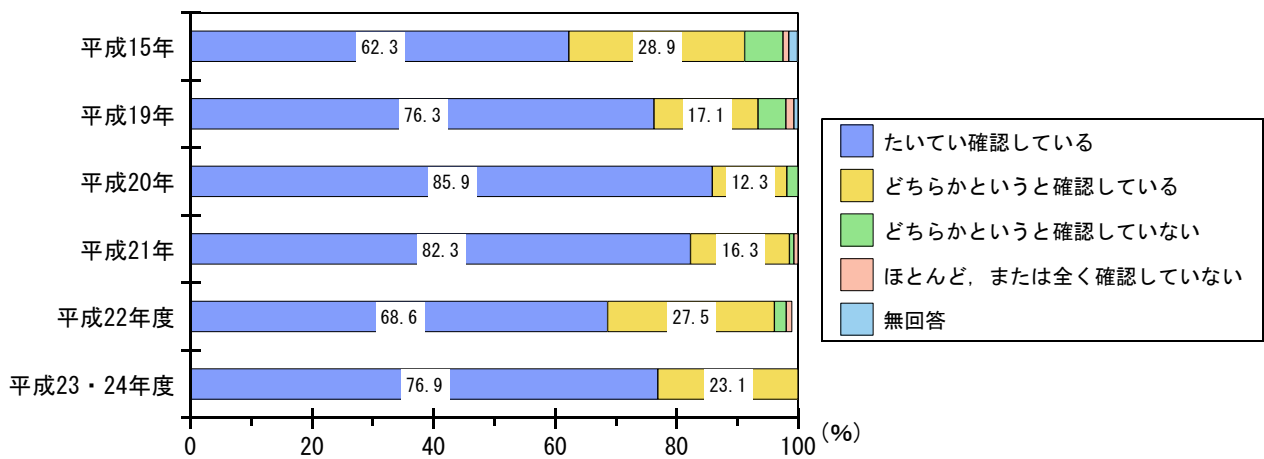
(%)

## 2. 表示の確認度と重視する点

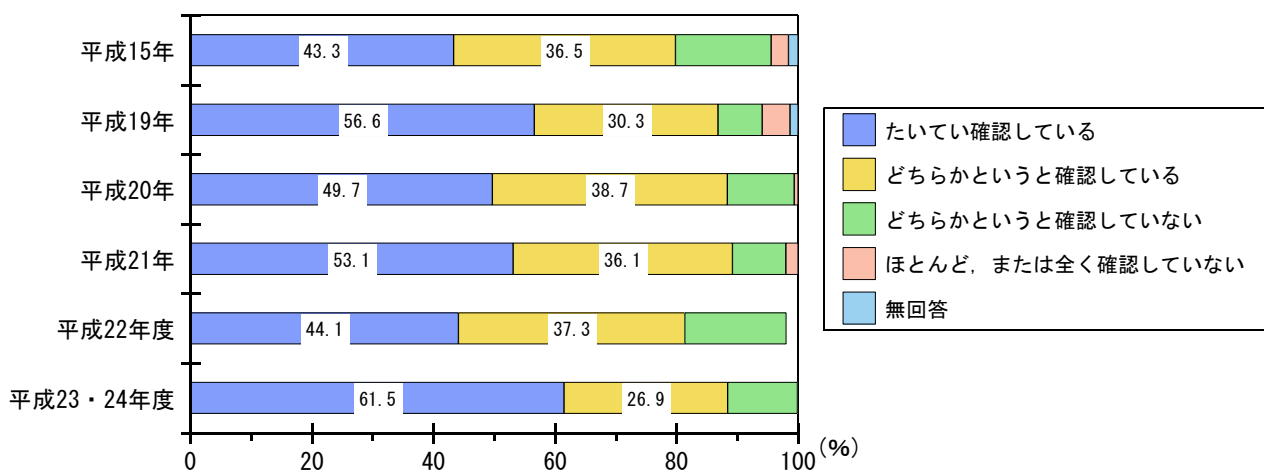
### (1) 食品表示の確認頻度



図Ⅱ 消費期限、賞味期限の日付

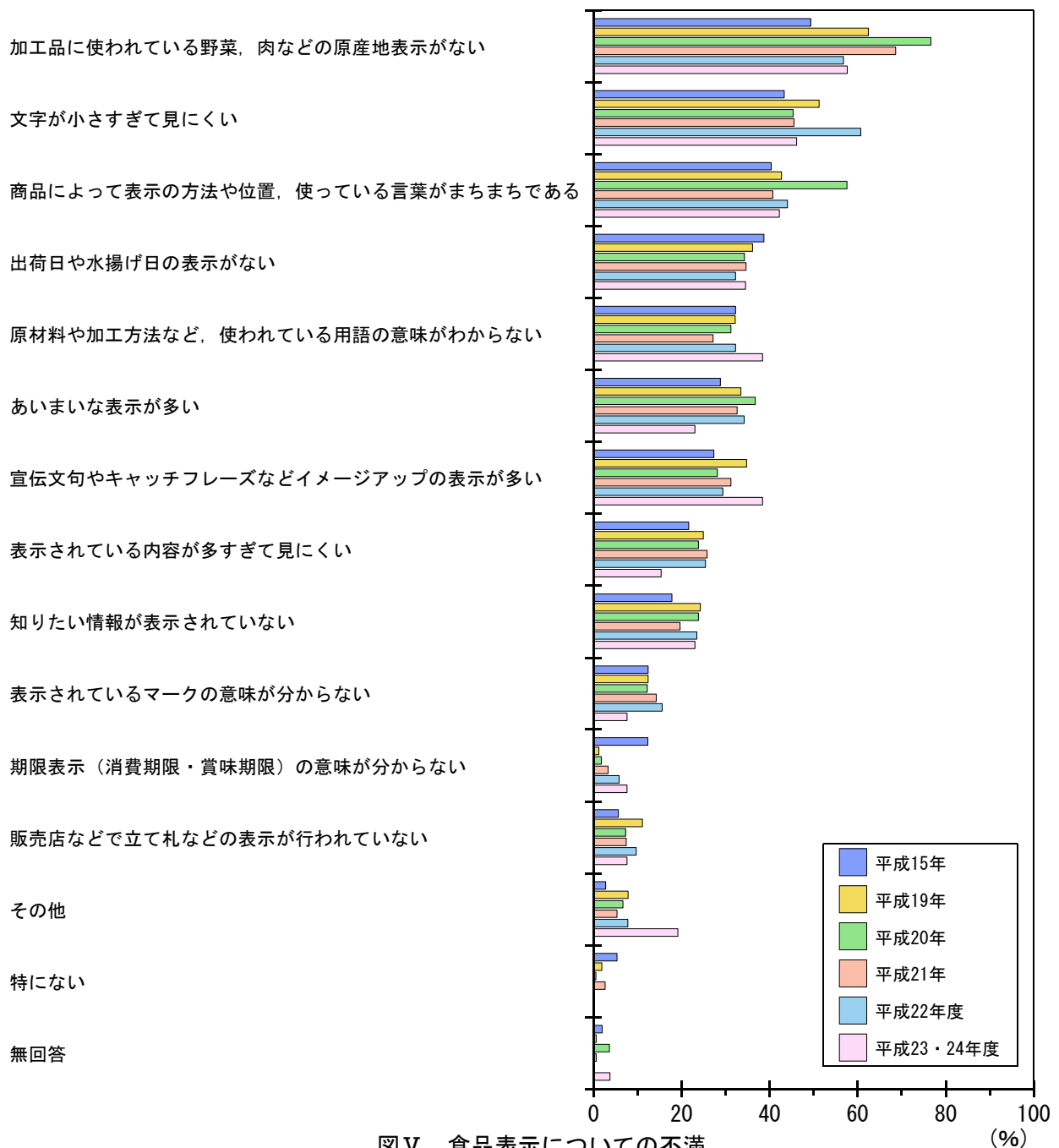


図Ⅲ 原産国・原産地や製造者の情報



図Ⅳ 原材料

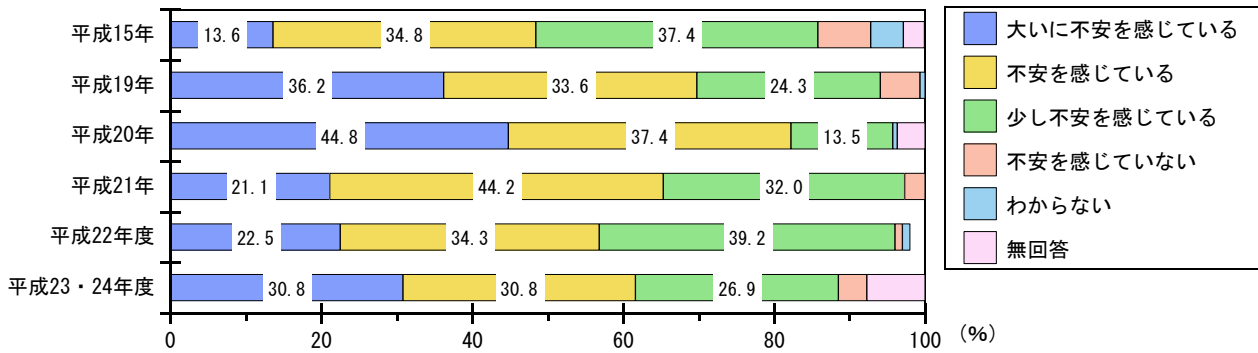
## (2) 食品表示への不満



図V 食品表示についての不満

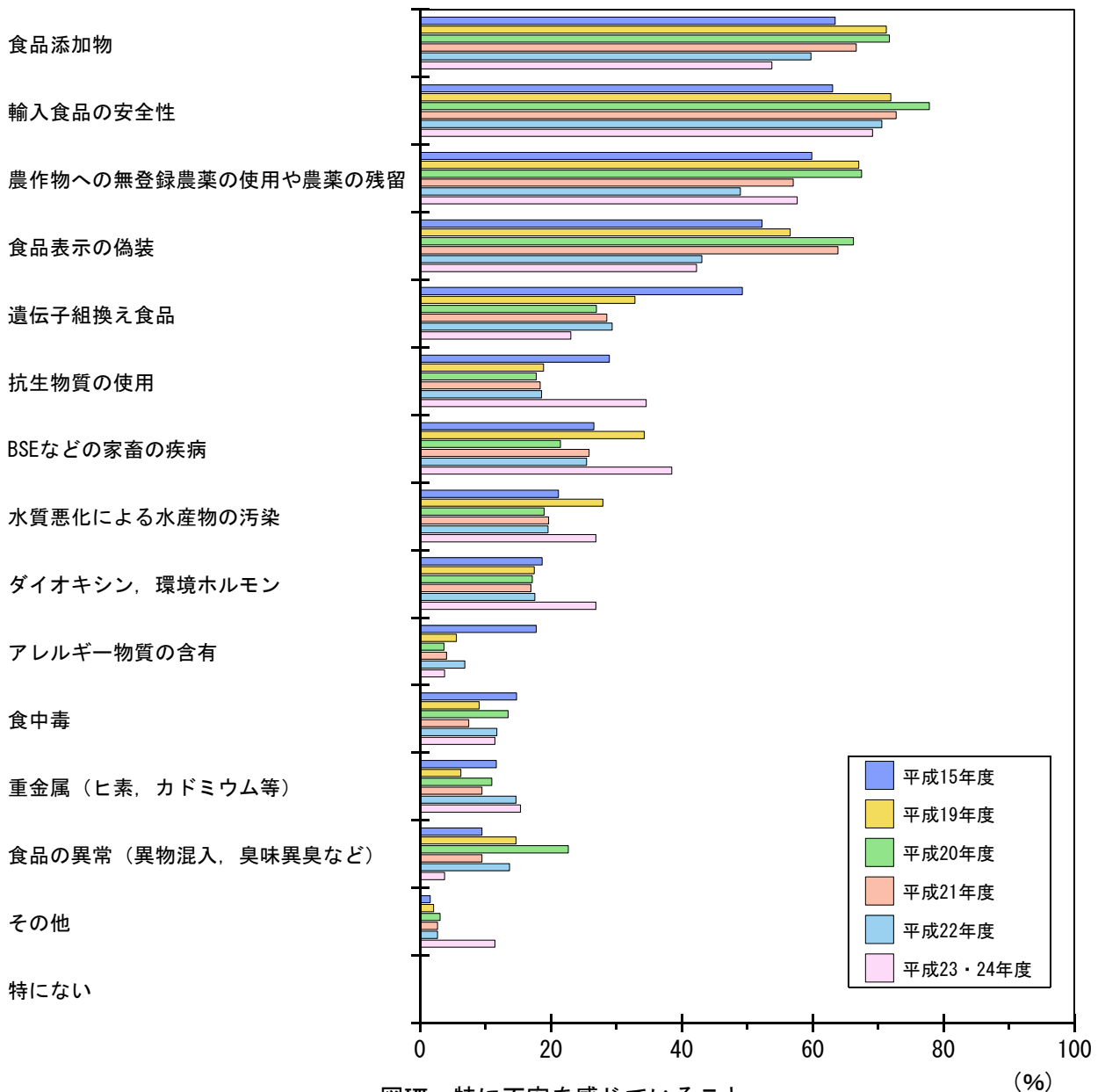
### 3. 食品の安全性について

#### (1) 食品の安全性に対する不安感



図VI 食品の安全性に対する不安

#### (2) 特に不安を感じる項目



図VII 特に不安を感じていること